

中学校第2学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 いろいろな見方・考え方
【道徳：内容項目 B-(9) 相互理解、寛容】
【自立活動：項目 3 人間関係の形成 (2)他者の意図や感情の理解に関すること
(3)自己の理解と行動の調整に関すること
6 コミュニケーション (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること】
- 2 資料名 待ち合わせ (自作資料)

3 主題について

(1) 主題設定の理由

平成31年(2019年)4月から中学校でも「特別の教科 道徳」がスタートする。また、平成27年の学習指導要領一部改正により、道徳教育の内容項目が発達の段階に応じて体系的に整理され、手がかりになるキーワードが付された。その中の内容項目B-(9)では、「相互理解、寛容」というキーワードのもと、「自分の考えや意見を相手に伝えるときにも、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」と指導の要点が示されている。互いの違いを認め、ときには許す寛容の心、偏狭なものの見方や考え方のない広い心を育てることは、これから社会に出て行く中学生にとって非常に大切なことである。

私たちの日常生活を振り返ってみると、誰もが知らず知らずのうちについて自分の尺度で物事をとらえがちである。それに加え、気持ちが落ち着かなかったり、慌てたりしているときには、相手の立場を思いやらず、自己主張や自己弁護を繰り返し、いつのまにか人間関係がギクシャクしていることはままあるだろう。まして、中学生の時期はそれが顕著で、そのことに気づかず友達関係で悩んでいる生徒は多いと思われる。自分自身を謙虚に見直し、いろいろな捉え方や可能性を考えることが、人との関わりで大事なことであると同時に、自分の成長につながるということをしっかり考えさせていきたい。

(2) 特別支援教育(自立活動)の視点から

通常学級に在籍している生徒の中にも、通級による指導の対象とはならないが、障害による学習上または生活上の困難の改善・克服を目的とした指導が必要な子がいる。その場合、自立活動を教育課程上に位置づけることはできないが、指導を行うにあたっては、自立活動の内容を参考にして、学級活動や総合的な学習の時間などにおいて、適切な指導や必要な支援を行うことも必要になると考えられる。今回の授業では、自立活動の内容と道徳の内容をリンクさせて、授業を行う。

通級指導教室で個別指導をしている中で、「自分のことは置いておき、人を疑ってかかる」傾向にある生徒が非常に多く見られる。はじめから自分に非はなく、相手に責任をおしつける考え方である。そのため、相手への言葉かけも決めてかかった強いものとなり、トラブルが発生する。トラブルが起こったときの対処方法を考えるときに、すぐに原因を決めつけるのではなく、いろいろな要因を考えること。また、自分にはその要因が全くないのかどうか自己を省みること、という習慣を身につけてほしいと考える。そうすることによって、周囲への接し方や声のかけ方も自然と変わってくるはずである。自己理解をうながすことが、他者理解へとつながっていくのではないかと考えている。

(3) 生徒の実態

4月に新しいクラスとなり、半年が経過した。授業など学校生活全般は落ち着いて生活できている。年度当初は前に立って何かをするような場面で、お互いに遠慮するような雰囲気があった。全体的に自分の意見を主張することが苦手な生徒が多い。その一方で、周りの意見をなかなか受け入れず、生

徒間でトラブルに発展するケースもあった。今回の授業では、自らを省みて、いろいろな意見を共有することで多様性を認めること。また、そのことがよりよい集団づくりにつながることに気づかせていきたい。

(4) 資料について

休日の待ち合わせを題材とした自作資料である。主人公である「僕」が待ち合わせの時間になっても来ない友達にイライラしているところへ、友達がやってくるという話である。本資料では、「僕」が遅れてきた友達に強い態度に出してしまうが、本当にその対応しかできなかつたのか、相手に対する心の持ち方から考えさせたい。そして、自分の考え方や対応を省みることで、相手への接し方も変わってくるというコミュニケーションのとり方を考えさせたい。

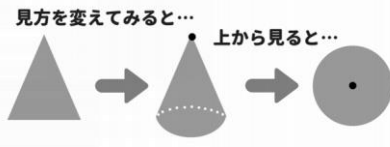
4 本時について

(1) ねらい

いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、自らを省みることで、他者とコミュニケーションをとるときの可能性を考える。

(2) 展開

過程	生徒の活動と内容	予想される生徒の反応	指導の留意点(・) 評価(◆) 自立活動の視点(☆)
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・号令により挨拶をする。 ・本時のポイントを聞く。 <p>1 自分の待ちあわせをした経験を振り返る。</p> <p>○友達と待ち合わせをしたとき、自分は何のタイプか？</p> <p>○何分だったら待てる？</p> <p>○相手が違ったら待てる時間は変わる？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早く着く ・時間通り ・遅れてしまう ・10分 ・待てない ・相手によって変わる ・変わらない ・友達だったら待てるけど、家族は待てない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業のポイントになること（自由に自分の考えを出してもらいたい）を伝える。 ・同じ事柄に対しても、人それぞれで考え方や感じ方が違うことを伝える。
展開 前半 17分	<p>2 「待ち合わせ」(前半)の教師の範読を聞く。</p> <p>3 話の内容の確認をする。</p> <p>4 「僕」の考えを予想し、発表する。</p> <p>○「僕」はこのときどのような気持ちだったでしょう？</p> <p>○「僕」はどうして2人が来ないと考えているでしょう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・怒っている ・不安 ・イライラ ・別にどうも思わない ・約束を忘れていた。 ・2人だけで自分を仲間 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使用する。 ・ワークシートに文章を載せるのと同時に、モニターにも映し出す。(文字だけではなく、イラストを添える) ・イラストのみモニターに映し、話のあらすじをイメージしやすいようにする。 ・タイムタイマーを使い、ワークシートに取り組む時間をわかりやすくする。 ・感情については表情(絵)でまず描くようにし、考えやすくする。

	<p>○もし自分が「僕」の立場だったら、友達が待ち合わせに来ない理由をどう考えるでしょう？</p>	<p>はずれにした。 ・何か来る途中であった。 ・「僕」と同じ考え。 ・2人が忘れている。 ・自分が何か間違えたかも？</p>	<p>◆いろいろな可能性を考えることができたか。 ☆人間関係の形成(3) <自己認識></p>
<p>展開後半 20分</p>	<p>5 「待ち合わせ」(後半)の教師の範読を聞く。</p> <p>6 話の内容の確認をする。</p> <p>7 太郎さんと健太さんの気持ちを考え、発表する。</p> <p>○「僕」の姿を見つけたとき二人はどのような気持ちだったでしょう。</p> <p>○「僕」から言われた言葉「遅いじゃないか。ずっと待っていたんだぞ！」に対して、2人はどのように思ったでしょう。</p> <p>8 「僕」の対応の可能性について考える。</p> <p>○「僕」が映画を楽しむために、どんな対応ができたでしょう？(どの場面で、どうすることができたかを考える)</p> <p>・全体で意見を共有する。</p>	<p>・安心。 ・よかった。 ・やっぱりここにいた。 ・なんだよ！ ・それはこっちのセリフだよ。</p> <p>・友達が時間になっても来なかったときに、自分に何か間違いはないか考えればよかった ・2人が怒ったとき、すぐに謝ればよかった ・映画を観ているとき、気にすることなく割り切ればよかった</p>	<p>・文章はワークシートに載せず、モニターに文章を映し出して範読をする。</p> <p>・表情カードを使い、感情を視覚的に分かりやすくする。 ☆人間関係の形成(2) <感情の理解></p> <p>・ワークシートに記入する。 ・タイムタイマーを使い、ワークシートに取り組む時間をわかりやすくする。 ・相手の行動ではなく、自分の行動を修正するという視点に着目できるように声をかける。 ☆人間関係の形成(3) <行動の調整></p> <p>・出てきた意見によっては、相手がどのような気持ちになるのかを問いかける。 ☆コミュニケーション(5) <状況に応じたコミュニケーション></p>
<p>終末 8分</p>	<p>・教師の話聞く。</p> <p>・今日の授業の感想を記入する。</p> <p>・終わりの挨拶をする。</p>	<p>見方を変えてみると…</p>  <p>上から見ると…</p>	<p>・円錐をいくつかの角度から見せ、自分がどこからみるかによって見え方が違うことから、さらに考えを深める。 ◆授業を受けて、自らの考え方を省みることができたか。</p>

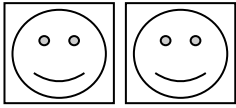
5 板書計画

『待ち合わせ』

駅で一人待つ「僕」

<気持ち>

- ・イライラ
- ・怒っている
- ・



<なぜ来ないと思っている？>

- ・約束を忘れていた
- ・自分を仲間はずれにした
- ・

◇自分が何か間違えたかも？

◇

◇

<どんなことができた？>

○友達が時間になっても来なかったとき、何か間違えてないか考えればよかった。

○2人が怒ったとき、すぐに謝ればよかった

○

○

遅れてきた2人

<気持ち>

- ・よかった
- ・安心

↓

- ・なんだよ！
- ・ふざけるなよ



<前半>

土曜日の午後、時計は午後2時を5分ほど過ぎている。僕は何度も時計を見直した。駅の改札前は人通りが多く、なんとなく落ち着かない。心の中で何度も「早く来ないかなー」とつぶやいた。

今日は同じ部活の太郎さん、健太さんと映画を観に行く約束をしている。3人とも前からずっと観たかったもので、とても楽しみにしていた。映画の時間に遅れたりして、迷惑をかけてはいけないと思い、僕はかなりゆとりをもって早めに家を出た。約束の2時の20分前には到着していた。なのに2時を10分過ぎても二人の姿は現れない。

<後半>

時計が2時20分を指した頃、遠くから待ちに待った姿が近づいてきた。何かを探しているようにきょろきょろしてはいるが、そんなに慌てている様子はない。

僕の姿を確認すると、

「見つけた！」と言って、笑いながら近寄ってくる。

僕はかなりむかついていた。2人をにらみつけ、

「遅いじゃないか。ずっと待っていたんだぞ！」と語気を強めた。

2人は「えっ？」という顔をして、

「何言ってるんだよ。それはこっちのセリフだよ。」

僕をにらんできた。僕にはその言葉と表情の意味がよくわからなかった。

「2時に駅の階段下って言っただろ。すれ違ったらまずいと思ったんだけど、いくら待っても来ないから、待ち合わせ場所を間違えているのかもしれないと思って、探すことにしたんだ。」

その言葉に僕はハッとした。でも、どうすることもできなかった。

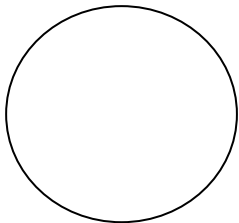
そのあと、予定どおり映画を観に行った。楽しみにしていた映画だったが、どんな内容だったのか、あまり覚えていない。

『待ち合わせ』

氏名 _____

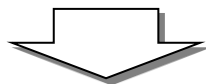
土曜日の午後、時計は午後2時を5分ほど過ぎている。僕は何度も時計を見直した。駅の改札前は人通りが多く、なんとなく落ち着かない。心の中で何度も「早く来ないかなー」とつぶやいた。

今日は同じ部活の太郎さん、健太さんと映画を観に行く約束をしている。3人とも前からずっと観たかったもので、とても楽しみにしていた。映画の時間に遅れたりして、迷惑をかけてはいけないと思い、僕はかなりゆとりをもって早めに家を出た。約束の2時の20分前には到着していた。なのに2時を10分過ぎても二人の姿は現れない。

○ 駅で一人待つ「僕」

表情

<どんな気持ち？>



<「僕」はどうして2人が来ないと考えている？>

<もし自分が「僕」の立場だったら、友達が来ない理由をどう考える？>

○ 「僕」が映画を楽しむために、どんな対応ができたでしょう？

この場面で	こうする

今日の授業の感想を書きましょう。